

# まちの話題あれこれ

## 宮脇昭横浜国立大名誉教授が講演

4月9日(月)、大槌町中央公民館において、宮脇昭氏(横浜国立大学名誉教授)の講演会が開かれました。

講演は、「明日の豊かな生活を守るいのちの森づくり～大槌町から世界へ～」と題され、1時間にわたり行われました。

宮脇名誉教授は、「いのちを守る森の防潮堤」づくりを提唱しており、大槌町が復興計画のコンセプトとして掲げた「海の見えるつい散歩したくなるこだわりのある『美しいまち』」の一環として取り組む森づくりの植樹会にもアドバイザーとして参加して下さっています。

## 大槌町出身歌手佐藤ひろ美さん来町 役場庁舎でジャケット撮影

4月10日(火)、大槌町出身で歌手の佐藤ひろ美さんが当町を訪れ、碓川豊町長に義援金を手渡しました。義援金は、イベントなどで募ったもので、佐藤さんは昨年にも町に寄付をしてくださっています。

この日は、8月発売予定のCDのジャケット撮影が役場庁舎で行われ、佐藤さんは職員とともに笑顔で撮影に臨んでいました。

## 明治学院大学と連携協定

3月28日(水)、町は、明治学院大学と、「協働連携協定」を結び、同大学の西学長と碓川町長により協定書が交わされました。

東京大学に続き2校目の大学との協定となる今回は、学生によるボランティア活動を中心とした支援をすることで、相互の交流、発展を目的とするものです。

明治学院大学では、震災以後多くのボランティア活動をしていただいております。今後も継続した活動をしてまいります。



## 古川聡宇宙飛行士と再会

3月29日(木)、古川聡宇宙飛行士の記念講演会が行われ、昨年10月に行われたスクールコンタクト交信事業で、国際宇宙ステーションに滞在中であった古川宇宙飛行士と交信を行った町内の小学生が、古川氏に直接質問をしました。

古川氏は、子供たちに向け、「色々大変なこともあると思うが、目の前のことを一つ一つ解決していけば、きっと素敵な明日が見えてくると思います」とメッセージをおくりました。

【古川氏への質問と回答】

Q. 流れ星は宇宙で見るとどう見えるか？

A. 宇宙で見ると上では無く下に見える。

Q. 宇宙ではどんなことが楽しかったか？また、宇宙でサッカーがしてみたい。

A. 目的地まで飛んでいけるのが楽しい。宇宙では、どこまでも飛んでいくスーパーシュートがうてる。

Q. 宇宙で一番感動したことは？

A. 人とのつながりを感じたこと。一緒にISSに滞在していた仲間はもちろん、地上からサポートしてくれる人たちや交信をした大槌町の小学生の皆さんとのつながりを感じて嬉しかった。

Q. 宇宙から見て一番きれいだったものは？

A. 地球のながめ。

Q. 宇宙から見た地球の朝と夜の違いは？

A. 昼は色が綺麗で、自然が目立っている。夜は、都市の光など人のつくりだした夜景がきれい。まちが無いはずの海の真ん中で光を見つけたら、漁の光だった。また、ISSでは24時間に16回日の出を見られるが、その際に地球のふちが虹色に見えて綺麗。

Q. 宇宙食でおいしかったものは？

A. カレーも好きだが、一番はサバの味噌煮。他の国の仲間にも人気だった。

Q. 宇宙食は何種類あるのか？

A. 70種類位。最近は和食の宇宙食も多く、他の国の仲間と宇宙食を交換して食べたりする。

Q. ISSでは何語を話すのか？

A. 基本的には英語だが、ロシア語も使っていた。

Q. 水などを飲む時は、どうやって飲むのか？

A. 地上と同じようには飲めないで、パックに水を入れて、留め具をつけたストローで飲む。宇宙では、水がとても大切なものなので、使った水やおしっこも綺麗にしてから飲む。

Q. 宇宙ではどうやってご飯を食べるのか？

A. 地上と同じように皿に盛り付けて食べる事ができない。カレーなども袋からそのまま食べる。

